

防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業報告書【防災に関すること】

学校名「長洲町立長洲中学校」

住所：熊本県玉名郡長洲町長洲805番地1

電話：0968-78-0105

I 学校の基本情報

○児童・生徒数：	183人（7学級）
○職員数：	18人
○校舎敷地の標高：	4.81m
○グラウンドの標高：	4.81m
○校舎最上階の標高：	16.66m
○海岸からの距離：	180m

二次避難場所情報

【避難場所】	長洲中学校屋上
【標高】	19.81m
【収容可能人数】	1,000人
【避難場所までの距離】	0m
【避難場所までの移動所要時間】	0分

その他の避難場所情報

【避難場所】	清里小学校
【標高】	8.46m
【収容可能人数】	389人
【避難場所までの距離】	1.8km
【避難場所までの移動所要時間】	22分

○過去の主な災害

1792年（江戸時代）島原の眉山崩壊で起こった津波では、長洲町だけで約1500人の命が失われた。また、玉名・長洲地域では津波の高さが6～8m、河内・宇土地域では、津波の高さが10mに達した。その結果、「島原大変肥後迷惑」という言い伝えが生まれた。



【講演する自主防災組織会長】

ウ 平成27年10月3日（土）、4日（日）に、自衛隊員、本校PTAと連携して防災キャンプを実施した。

エ 平成27年11月2日（月）に、緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を行った。

オ 平成27年11月5日（木）に、緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を、長洲幼稚園、長洲保育園、新山地区住民及び長洲交番と連携して実施した。

カ 平成27年12月21日（月）から月に1回、緊急地震速報受信システムを活用し、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に身を寄せる一時避難行動のショート訓練を実施している。

(2) 緊急地震速報受信システム等を利用した避難訓練の実施について

平成27年11月2日（月）に第1回目の避難訓練を実施した。震度6（津波到達まで約40分）の避難訓練放送により、生徒は、机の下に入り、机の脚を両手で持って身を守った。その後、津波警報発令を受け、屋上に速

II 取組の概要

1 防災に関する指導方法の工夫

(1) 防災教育に関する指導計画について

ア 平成27年6月19日（金）に、心肺蘇生法及びAEDの操作方法についての学習を実施した。

イ 平成27年9月4日（金）に、東日本大震災の被災地である岩手県宮古市上村の自主防災組織会長を招聘し、防災講演会を実施した。

この講演を通し、地域の安全に貢献できる資質や能力を持った生徒の育成を図った。

やかに避難した。訓練に要した時間は5分だった。

特に、避難するうえで、「お（押さない）・か（駆け出さない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」を意識させた。

第2回目は、平成27年11月5日（木）に、長洲幼稚園、長洲保育園、新山地区住民及び長洲交番と連携して実施した。震度6（津波到達まで60分）の想定で、各クラスから選出された60人が中学校から400m程離れた場所にある長洲幼稚園児85人、長洲保育園児40人の避難誘導にあたり、各クラスから選出された30人が新山地区住人40人の避難誘導にあたった。全員が屋上に速やかに避難するまで20分を要した。

避難訓練終了後、学校防災アドバイザーによる講話を聞き、防災教育及び防災訓練の重要性を学ぶことができた。



【屋上に避難誘導している様子】

さらに、防災意識の向上を図るため、平成27年12月21日（月）から月に1回、ショート訓練を実施している。

（2） 関係機関等との連携を図った防災教育について

ア 心肺蘇生法講習会において、有明広域消防荒尾消防署長洲分署の署員及び長洲町の女性消防隊員の指導の

下、4班に分かれて声かけによる意識の確認や胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用法などの演習に取り組んだ。



【班ごとに実演している生徒たち】

イ 岩手県宮古市上村の自主防災組織会を招聘し、防災講演会を実施した。

ウ 防災キャンプにおいて、自衛隊員及び本校PTAと連携して、避難所生活体験を実施した。

エ 第2回避難訓練において、荒尾警察署長洲交番署員及び学校防災アドバイザーと連携し、地域と一体となった取組を実践した。

2 災害ボランティア活動について

関東・東北豪雨や阿蘇中岳噴火など自然災害が相次ぐ中、有明海に面した本校では、防災意識の向上と支援者として安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高めることを目的に、PTAと連携して防災キャンプを実施し、防災講話、自衛隊による防災教室、炊飯体験及び段ボールベッドをつくり、宿泊体験などを行った。



【ハイゼックス炊飯体験】



【段ボールベッドづくり】

この取組を通して、生徒一人ひとりに「自助」「共助」の精神を育むことができた。

3 学校防災アドバイザーの活用について

(1) 合同避難訓練に向けた事前検討会

平成27年11月5日(木)の合同避難訓練の検討会を平成27年10月16日(金)に実施した。避難方法について詳細な指導・助言を受けた。主な指導内容は以下のとおりである。

ア 長洲幼稚園、長洲保育園、新山地区住民と避難方法や避難場所について連絡を綿密にしておくことや自分の身を守ることを最優先に考えること。

イ 本校生徒、長洲幼稚園児、長洲保育園児、新山地区住民の誘導方法を教職員が把握しておくこと。

(2) 避難訓練での講話

防災マニュアルや事前の打ち合わせを綿密に行った結果が現れた避難訓練であった。今後も、長洲町が一体となった防災訓練の実施の必要性を強調された。



【学校防災アドバイザーの講話】

Ⅲ 取組の成果と課題

1 防災に関する指導方法の工夫

(1) 成果

ア 緊急地震速報受信システムを効果的に活用することにより、実践的な避難訓練につながった。

イ 地域と連携した訓練を実施したことで、生徒が自分たちでできる事を意識し、主体的に行動することができた。

(2) 課題

ア 災害はいつ・どこで起こるか分からないので、今後も想定を変えた避難訓練を継続していきたい。

2 災害ボランティア活動について

(1) 成果

ア 自衛隊による防災体験、炊飯体験及び段ボールベッドづくり等不便な生活を体験することで、地域や社会に貢献する心を育むことができた。

イ 生徒一人ひとりに、ボランティア精神と主体的な行動力を身に付けることができた。

(2) 課題

ア 災害ボランティア活動に進んで参加できるよう、これからも防災教育の充実を図る必要がある。

3 学校防災アドバイザーの活用について

(1) 成果

ア 専門家の視点から、避難訓練の計画や実際の訓練について、アドバイス受け、より実践的な避難訓練を行うことができた。

イ 年間を見通した計画的な避難訓練を行うことができた。

(2) 課題

防災意識を高めていくために、防災教育と防災訓練を系統的に実施していく必要がある。

防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業報告書【防犯を含む生活上の安全に関すること】

学校名「長洲町立長洲中学校」

住所：熊本県玉名郡長洲町長洲 805 番地 1

電話：0968-78-0105

I 取組の概要

1 防犯カメラ等を活用した登下校時を含めた日常的な学校の安全を確保する体制について

防犯カメラ等の防犯に関する科学技術等を活用した登下校時の安全確保に係る安全管理の体制を構築することにより、生徒の通学時の安全確保を図ることができると考えた。

また、防犯カメラの適正な運用基準を定め、不審者等の侵入など犯罪防止とプライバシーを保護することの調和を図った。

本校は、職員室に設置しているモニター（モニター接続型防犯カメラ）を効果的に活用しながら、登下校の見守りや不審者侵入への抑止効果及び犯罪への迅速な対応につなげている。

2 防犯や日常生活における事故を防ぐ能力を高めるための指導方法の工夫

（1）不審者対応避難訓練の実施

平成27年11月30日（月）に、不審者対応避難訓練を実施した。

本校東門に設置している防犯カメラに不審者らしき人物が映ったため、教職員が対応にあたったが、不審者は走って校舎内に侵入したという想定で訓練を行った。

教科担任がクラスの生徒の安全な避難誘導を図るとともに、さすまた・木刀等を持った教職員が不審者に対応した。

生徒の運動場への避難完了は5分を要した。

その後、荒尾警察署員と事故防止アドバイザーによる講話を聞き、不審者

への対応の仕方について学んだ。

特に、対応の仕方として「イカ（行かない）・の（乗らない）・お（大声で叫ぶ）・す（すぐ逃げる）・し（知らせる）」の重要性を確認した。



【不審者対応避難訓練の様子】

（2）「お迎えさんぽ運動」の推奨

下校時は、保護者の自家用車でのお迎えが多く、学校周辺が混雑をするという学校の課題に対して、自宅周辺での散歩を兼ねた徒歩でのお迎えを推奨した。

この取組により、見守り人員の増加を図り、見守り体制の強化を目指した。

この取組を行うことで、長洲町全体が一層安心できる地域になっていくと考えている。下校時間に合わせて①ちょっとそこまで、お迎えに。②我が子と2人だけの時間、会話。③笑顔とともに「お帰りなさい」。④安全・安心なふるさとづくり。をキャッチフレーズに「できる人が、できる所で、できる事を」をスローガンに、継続して取り組んだ。



【集団下校している様子】



【途中まで迎えに来ている保護者】

3 事故防止アドバイザーの活用について

平成27年11月30日（月）の避難訓練に向けて、避難方法、避難場所や日常的な事故の防止対策について以下のような指導・助言を受けた。

- （1）警察と連携して日常的に不審者情報を収集し、対策を講じておくこと。
- （2）不審者対応マニュアルを定期的に見直し、様々な状況下での訓練を実施すること。
- （3）校外で不審者に遭遇したときは、大声を出し、近くの人に助けを求めるように常に指導し、意識させておくこと。



【事故防止アドバイザーの講話】

II 取組の成果と課題

1 防犯カメラ等を活用した登下校時を含めた日常的な学校の安全を確保する体制について

（1）成果

ア 防犯カメラを設置したことで、日

常に通学状況を観察することができ、見守り活動の補完につながった。

イ 防犯カメラ設置により、不審者侵入等への抑止効果とともに、迅速な初期対応ができ、生徒の安全確保に有意義であった。

（2）課題

ア 定期的に避難訓練を行うことが必要であるが、授業時数との関連で、時間の確保が難しい。今後、より効果的で短時間に行える訓練等について検討していく必要がある。

2 防犯や日常生活における事故を防ぐ能力を高めるための指導方法の工夫

（1）成果

ア 「お迎え散歩運動の推奨」は、地域の見守り体制の充実につながった。

今後継続して取り組むことで、見守り人員の増加など、さらなる効果が期待される。

イ 日常的に警察と連携しておくことは、早い段階で対策を講じることができ、非常に有効である。

（2）課題

ア 不審者は、どのような人物で、いつ、どこから侵入してくるか分からない。更なる防犯体制の構築を検討していきたい。

3 事故防止アドバイザーの活用について

（1）成果

ア 専門家の視点から、アドバイスをいただき、次回からの避難訓練に大いに活かすことができた。

イ 不審者対策への教職員の意識改革が図られ、工夫した避難訓練が実施できた。

（2）課題

事故防止アドバイザーは避難訓練時だけでなく、日常の防犯教育にも活用できるとより効果的であった。

H 2 7 年度 地震・津波に対する避難訓練実施計画（生徒用）

長洲町立長洲中学校

1 目 的

- ・地震及び津波の恐ろしさを理解し、地震及び津波に遭遇したときの対処法を身につけるとともに、自他の生命を尊重する態度を育成する。
- ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施することにより、地震発生時に生徒一人ひとりに危険回避能力を育成する。

2 日 時 平成 2 7 年 1 1 月 5 日（木） 1 0 : 3 0 ~（C 日課） 雨天時は延期 1 1 月 6 日（金）
（長洲幼稚園 8 5 人、長洲保育園 4 1 人、新山地区 2 0 人と合同訓練）

※本校だけの避難訓練は 1 1 月 2 日（月）に実施しておく。

3 地震発生場所 （想定）天草沖の有明海・・・津波到達は6 0 分後

4 避難経路及び避難場所 屋上 別紙

5 訓練内容

（1）学級担任は、今回の避難訓練の趣旨および計画を説明する。（1 0 時 3 0 分～1 0 時 4 0 分）

（2）①緊急地震速報がなる。（1 0 時 4 0 分）

「緊急地震速報の放送テストです。地震発生震度 6、(30秒後)落ち着いて身を守ってください。」

「地震発生震度 6、(20秒後)落ち着いて身を守ってください。」

「10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0」「落ち着いて身を守ってください。」

※生徒は、机の下に入り、机の脚を両手で持って身を守る。

②津波発生を通告する。（緊急地震速報後 1 分経ってから）

（教頭先生が 2 回繰り返す）

「ただ今、気象庁から津波警報が出されました。津波の到達は 6 0 分後です。地域の方々が本校屋上に避難して来られます。生徒のみなさんは、地域の方々の避難誘導にあたってください。これは訓練です。津波到達は 6 0 分後です。津波の高さは 3 m が予想されます。」

（3）担任は、まず静かにさせ、避難誘導の指示と津波到達時刻および津波の高さの再確認をする。

津波到達予想は 6 0 分後であるため、1 1 時 3 0 分までにはどんなことがあっても屋上に避難しておく事を明確に指示する。

①各学級 1 0 人を選出しておき、長洲幼稚園（保育園）の避難の支援を行う。

・長洲幼稚園まで走って行き、園児の避難誘導を手伝う。

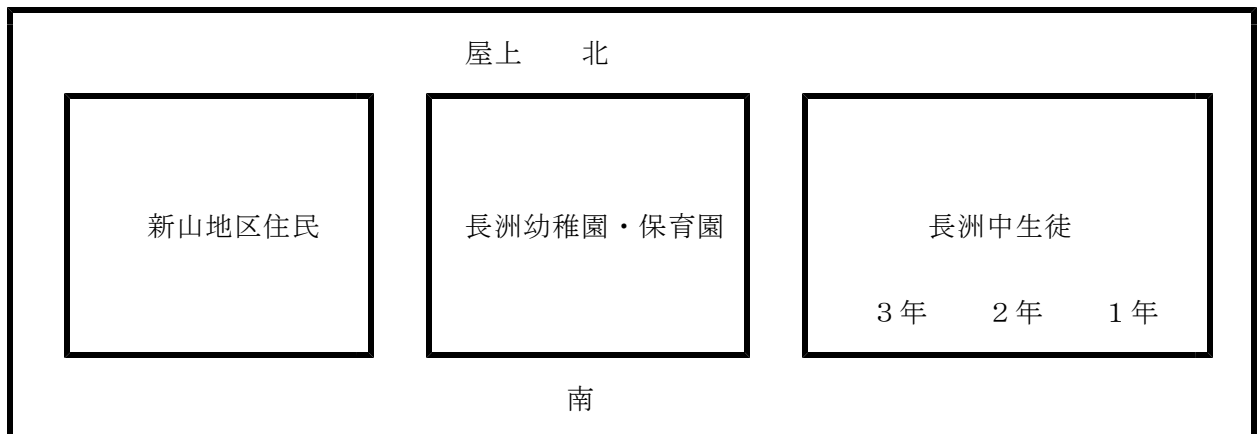
②各学級 5 人の生徒は、玄関および東門付近で地域住民の避難誘導を行う。

③残りの生徒は、屋上に避難する。

避難した生徒は、体を乗り出して下を覗うことがないように座って待つようにする。

④ 1 1 時 2 5 分になったら、避難誘導をしている生徒も、屋上へ避難するよう指示する。

☆屋上では一番奥に中学生が詰めて、各学級男女 1 列・南を先頭に集会隊形で整列する。



(4) 避難場所集合

①私語をしない。

②総務は、人員点検をして担任に報告する。(※各学級男女各1列で名簿順に並ぶ)

③総務→担任→教頭→校長

(5) 防災アドバイザーより

(6) 校長先生より

(7) 解散(11時50分)

①各クラス10人は、長洲幼稚園まで誘導・支援を手伝う。

②各クラス5名は、地域住民の階段等での誘導を行う。

③各クラスの残りの生徒は、地域住民や園児が出た後、最後に教室へ戻る。

6 その他

(1) 真剣に訓練に臨むように指導する。

①「津波てんでんこ」「より早く、より高く、より遠くへ」が第一である。

②今回は、津波到達までに時間があることを確認した上での訓練である。

③避難する上での弱者の立場に立って、避難誘導の手伝いを行う。

(2) 11月4日(水)の放課後に次の確認を行う。

①長洲幼稚園まで迎え(送り)に行く各学級10名

②地域住民の避難誘導にあたる各学級5名の生徒

(3) 屋上の扉はマスターで開けることができる。職員室にいる先生が屋上の扉を開ける。

(4) 職員の係

○防災本部長(校長) ○通告(教頭) ○計時(教頭) ○屋上解錠(○○)

○全体指導(□□) ○救護(▼▼) ○屋上での生徒指導(△△)

○園児避難誘導(●● ◎◎ ☆☆)

○地域住民対応(■■) ○11時25分屋上への避難指示(◇◇)

○屋上における地域住民等の対応・パイプイス(▽▽)

H 2 7 年度 地震・津波に対する避難訓練実施計画（地域住民用）

1 目 的

- ・地震及び津波の恐ろしさを理解し、地震及び津波に遭遇したときの対処法を身につけるとともに、自分の生命を守る事ができるようにする。
- ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施することにより、地震発生時の危機回避能力を育成する。

2 日 時 平成 2 7 年 1 1 月 5 日（木） 1 0 : 3 0 ~ 雨天時は順延 1 1 月 6 日（金）
（長洲幼稚園 8 5 人、長洲保育園 4 1 人、新山地区 2 0 人と合同訓練）

3 地震発生場所 （想定）天草沖の有明海・・・・・津波到達は約 6 0 分後

4 避難経路及び避難場所 屋上 別紙

5 訓練内容

（1）①有線放送にて、緊急地震速報を流す。（1 0 時 4 0 分）

「訓練。緊急地震速報訓練です。地震が発生しました。大きく揺れています。机の下などに身を隠して下さい。訓練。震度 6 です。落ち着いて身を守ってください。」

② 1 分後、「訓練。津波が発生しました。中学校へ避難を始めて下さい。これは訓練です。」

（2）中学校到着後は、中学生および中学校の先生の指示に従い、土足のままで屋上まで避難して下さい。

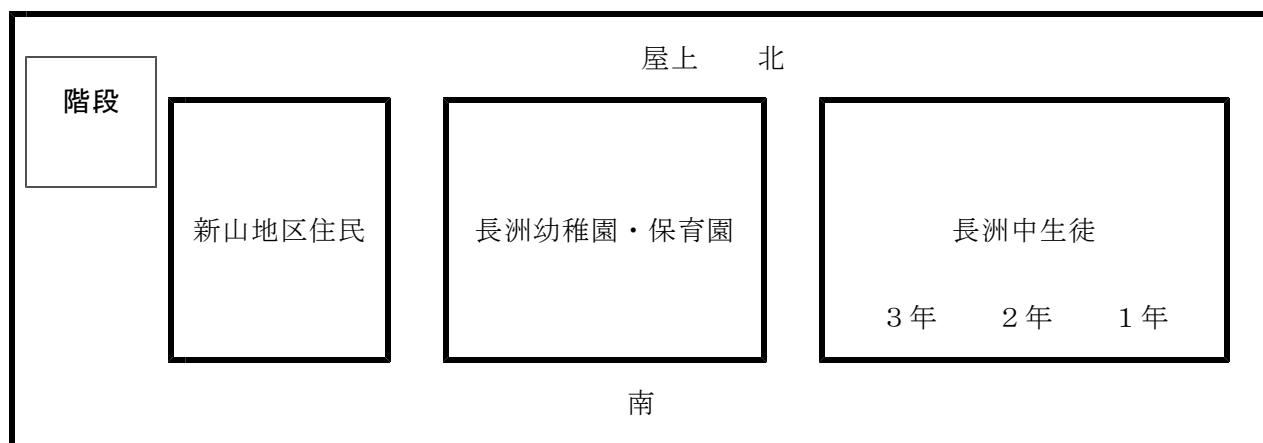
職員玄関から入って、屋上まで上がる。

（3）長洲幼稚園児および保育園児の到着を待つ。

（4）防災アドバイザーおよび中学校長の話を聞く。

（5）解散（1 1 時 5 0 分）

☆屋上では一番手前に並びます。（パイプ椅子を準備してもらいます。）



6 その他

- ・避難場所では私語はしないで下さい。
- ・中学校では、中学生が誘導しますが、決して急がないで下さい。
- ・ケガ等がないよう各自注意して下さい。

7 参加者

（以上 名）

H 2 7 年度 地震・津波に対する避難訓練実施計画（園児用）

1 目 的

- ・地震及び津波の恐ろしさを理解し、地震及び津波に遭遇したときの対処法を身につけるとともに、自分の生命を守る事ができるようにする。
- ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施することにより、地震発生時の危機回避能力を育成する。

2 日 時 平成 2 7 年 1 1 月 5 日（木） 1 0 : 4 0 ~ 雨天時は延期 1 1 月 6 日（金）
（長洲幼稚園 8 5 人、長洲保育園 4 1 人、新山地区 2 0 人と合同訓練）

3 地震発生場所 （想定）天草沖の有明海・・・津波到達は約 6 0 分後

4 避難経路及び避難場所 別紙

5 訓練内容

（1）①園内放送にて、緊急地震速報を流す。（1 0 時 4 0 分）

「（訓練）地震が発生しました。大きく揺れています。机の下に隠れて下さい。」

② 1 分後、「（訓練）津波も発生しました。中学校へ避難します。」

（2）国道に出るくらいまでには中学生が到着する予定。

中学生には明確に指示をする。（この子とこの子の手を引っ張って など）

中学生は、6 0 人が誘導支援に来る。

（3）道路の横断の際は、長洲交番（警察官）の指示に従う。

（4）新山信号から中学校までは、右側を中学生と手をつないで歩く。

（5）中学校到着後は、階段を使って屋上まで避難する。

①だっこ等が必要な場合は、その場で中学生に指示する。

②だっこに不慣れな中学生も多い。周りの状況を把握しておく。

③校舎内も、土足のまま移動する。

（6）屋上に避難後、人員確認

（7）防災アドバイザーおよび中学校長の話聞く。

（8）解散（1 1 時 5 0 分）

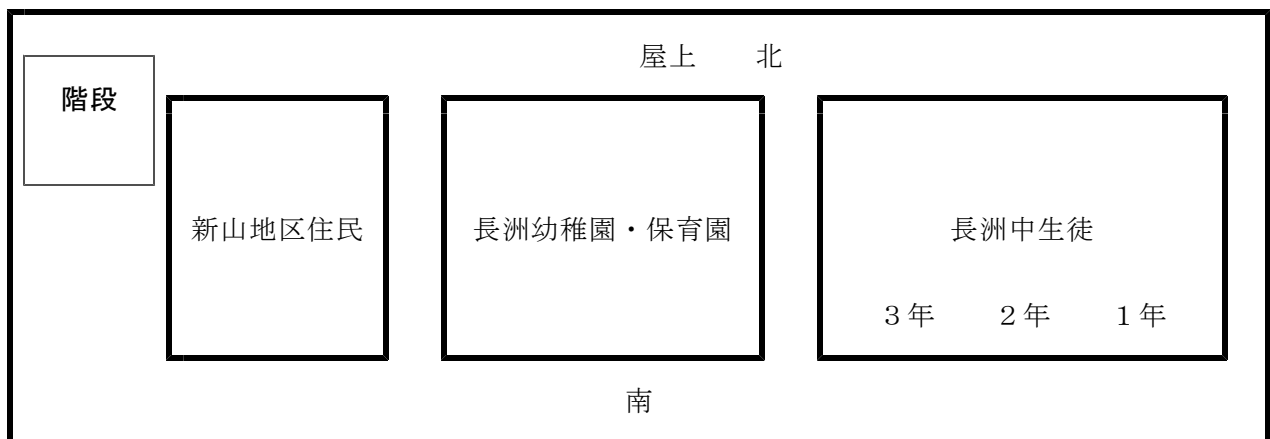
来る時と同じ中学生 6 0 名が誘導・支援する。

最初と同じように、中学生には明確な指示をすること。

新山信号機付近では、警察官の指示に従う。

中学生が、園の玄関まで誘導・支援する。

☆屋上では中央付近に並びます。



中学校

右側通行

右側通行



警察官の指示で横断

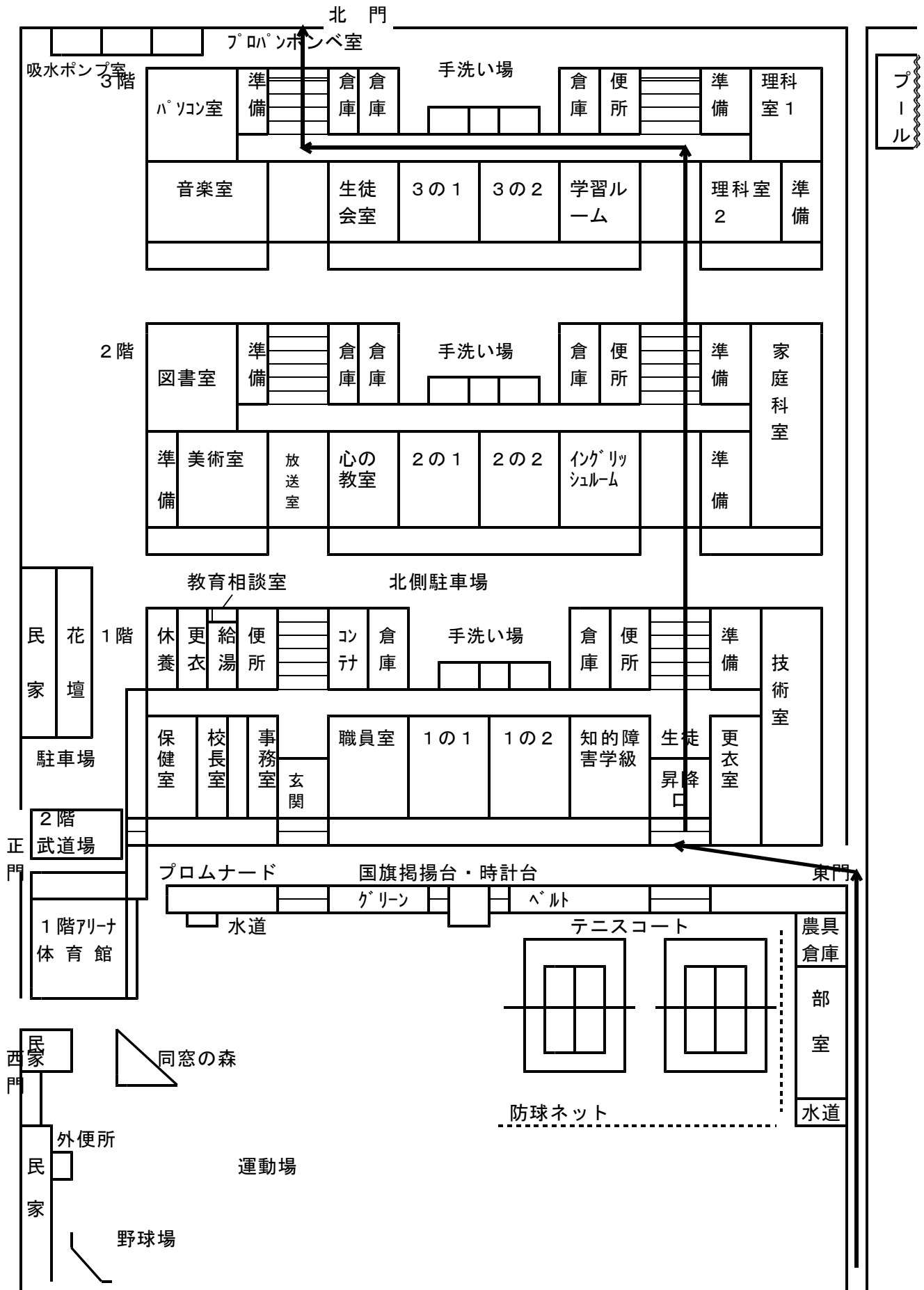
歩道

中学生と合流

長洲幼稚園
長洲保育園

平成27年度 地震津波避難訓練（避難場所：校舎屋上）

長洲町立長洲中学校



Ｈ２７年度 一次避難訓練実施計画（地震・津波）

長洲町立長洲中学校

１ 目 的

- ・地震及び津波の恐ろしさを理解し、地震及び津波に遭遇したときの対処法を身につけるとともに、自他の生命を尊重する態度を育成する。
- ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施することにより、地震発生時に生徒一人ひとりに危険回避能力を育成する。

２ 日 時 平成２７年１２月２１日（月） 一次避難のみ 帰りの会でアンケート

平成２８年 １月１５日（金） 一次避難のみ

平成２８年 ２月１９日（金） 一次避難のみ

３ 地震発生場所 （想定）雲仙噴火後普賢岳崩壊

４ 避難経路及び避難場所 一次避難のみのため二次避難は行わない。

５ 訓練内容

（１）学級担任は、避難訓練の指導をする。（事前に）別紙プリント参照

（２）①緊急地震速報がなる。

「緊急地震速報の放送テストです。地震発生震度７、30秒後、落ち着いて身を守ってください。」

「地震発生震度７、20秒後、落ち着いて身を守ってください。」

「10,9,8,7,6,5,4,3,2,1,0」「落ち着いて身を守ってください。」

②生徒は「落ちてこない 倒れてこない 移動してこない」場所へ移動

（職員は状況確認、放送による終了放送）

地震発生 そのときあなたは

落ちてこない

倒れてこない

移動してこない

場所へ

◎学校にいる場合 ◎屋外にいる場合 ◎スーパーにいる場合



- すぐ机の下にもぐって揺れがおさまるのを待つ。
- あわてずに先生などの指示にしたがう。



- ブロック塀、門柱、電柱など倒壊の危険のあるものから離れる。
- 落下物から手荷物や両手で頭を守る。



- 商品や陳列棚など、落下物や転倒の危険があるものから離れる。
- 落下物から、買い物かごや手荷物で頭を守る。

平成 27 年度 不審者侵入避難訓練実施計画

長洲町立長洲中学校

- 1 目的 ・生徒の生命の安全を考え、自校における安全管理の充実を図る。
・不審者が侵入したときを想定し、緊急時の手順、情報伝達体制、役割分担など、具体的な動きを確認しあう。

- 2 実施日 平成 27 年 11 月 30 日(月) A 日課 ・6 校時開始(15:10)

- 3 想定 不審者(単独)の侵入

- 4 6 校時以降の割り振り

	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
先生						
教室	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2

- 5 職員の係 ○本部長(校長) ○警察、救急への通告(☆☆)
○生徒への通告(教頭) ○救護(養護教諭)
○巡視(◇◇ ◎◎)…教室に生徒が残っていないかを確認する。
○人員確認 1 年…担当者→△△
2 年…担当者→▼▼
3 年…担当者→■ ■
○避難誘導(各授業担当) ○野球場フェンス解錠(□□)
○全体指導(●●)、計時(教頭)

- 6 訓練内容 ①クラス担任は、避難訓練の指導をする。
②避難場所(運動場:雨天時は体育館)
③設定:不審者が進入した。

- 7 当日の流れ A 日課 6 校時(15:10)から

- 15:10 ~ 15:15 ①不審者侵入に対しての心構えと対策を、各担任から説明しておく。
②不審者らしき者が防犯カメラに写る。
③職員(□□ ○○)が昇降口に行く
- 15:20 ④不審者(署員)侵入。進入後、不審者の意図で進路は決める。
⑤不審者に気づいた先生、もしくは、進入された教室の先生が不審者の行動を抑止、退去を求める。(不審者役は進路変更可)
⑥放送で不審者侵入を通告する。(教頭)

「ただいまより緊急集会を開きます。先生の指示に従ってすみやかにグラウンド(体育館)に集合してください。1 年 2 組前を避けて集合してください。」
☆(この場合、1 年 2 組に不審者が侵入したことを表す。)

- ⑦不審者が騒ぎ出す。(刃物等を振り回す)
⑧各教室の先生が避難場所に誘導する。(スリッパのまま速やかに避難)
⑨職員室から木刀、さすまたを持って駆けつけ、不審者を校外に逃がす

よう誘導する。(☆☆ ●●)

⑩教頭の指示で 110 番、119 番に連絡。(植田) (今回は実際にはナシ!)

⑪生徒の避難場所である野球場に待機、点呼確認。

⑫負傷者等の確認、手当て。(養護教諭)

15:40 ⑬署員の講話 (20 分)

⑭事故防止アドバイザーからの話

⑮校長先生の話

16:10 ⑯解散・帰りの会 (感想書き)

8 留意点

①授業担当者は、まず静かにさせ、避難経路を判断し、避難経路・避難場所を指示する。

②避難するときはスリッパは履いたまま。道具は持たない。私語はしない。

③総務はクラスの人数を点検し、担任または学年部の先生などに報告する。

(男女総務→担任→学年主任→教頭→校長)

④避難誘導の際は、教師が必ず生徒の先頭に立ち、十分に安全を確認して誘導すること。

⑤発生通告から避難完了までの時間の計時(平島教頭)及び学校長への報告。

9 その他

・保健室、畳の部屋等にいる生徒も確認する。(〇〇)

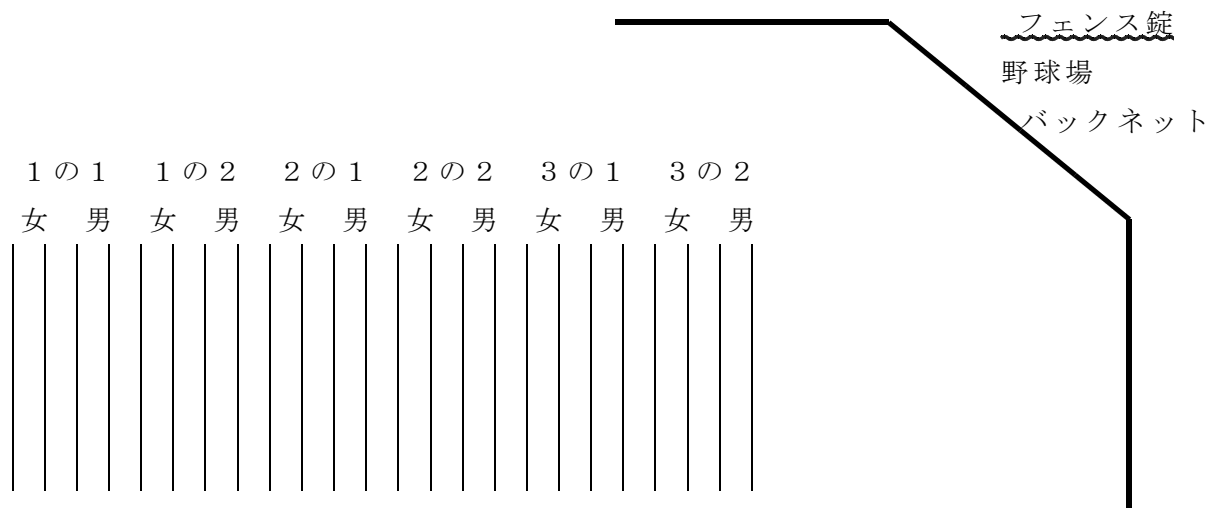
・「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」平成14年12月 参考

・避難訓練後の足洗い場 1年体育館東側 2年保健室前 3年技術室前

・雑巾各クラス5枚(ボランティア委員会)

・雨天時は体育館に避難…その場合はステージを正面にする。

【集合隊形】



集会の時同様、各クラス男女2列ずつ整列する。

整列が完了したら、各クラス総務が担任の先生に報告する。

平成27年10月8日

保護者様

長洲町立長洲中学校

P T A 会長 福島 正季
校 長 船 津 巧

長洲中学校「お迎え さんぽ 運動」の推奨について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。生徒たちは、玉名荒尾中体連陸上大会で、選手だけでなく応援の生徒たちも素晴らしい姿を見せてくれたところです。さらに、10月25日の文化学習発表会に向けて、早朝から合唱や劇の練習に打ち込んでおります。

さて、中体連夏季大会前に、部活動終了時の自家用車でのお迎えについて控えていただくようお願いしました。中学校においては、防犯カメラの設置がされました。更に、集団下校を推奨し、できるだけ一緒に帰るように配慮してもらっています。また、町当局には、暗く寂しい箇所への防犯灯の設置などをお願いしているところです。

しかし、3年生が部活動を引退し、日暮れも早くなったことで、1、2年生の保護者には、子どもたちの下校時の不安が一層増しておられることと拝察致します。

つきましては、我が子だけを自家用車で迎えに行くのではなく、町全体が一層安心できる町になることを願って、「お迎え さんぽ 運動」を推奨したいと思います。夕方の忙しい時間帯ですが、家族が協力して、この運動を推奨してみませんか？各家庭のわずかな取組が、町全体の安全・安心につながるはずです。

この運動のスローガンは、「できる人が、できる所で、できる事を」です。

長洲中学校 お迎え さんぽ 運動

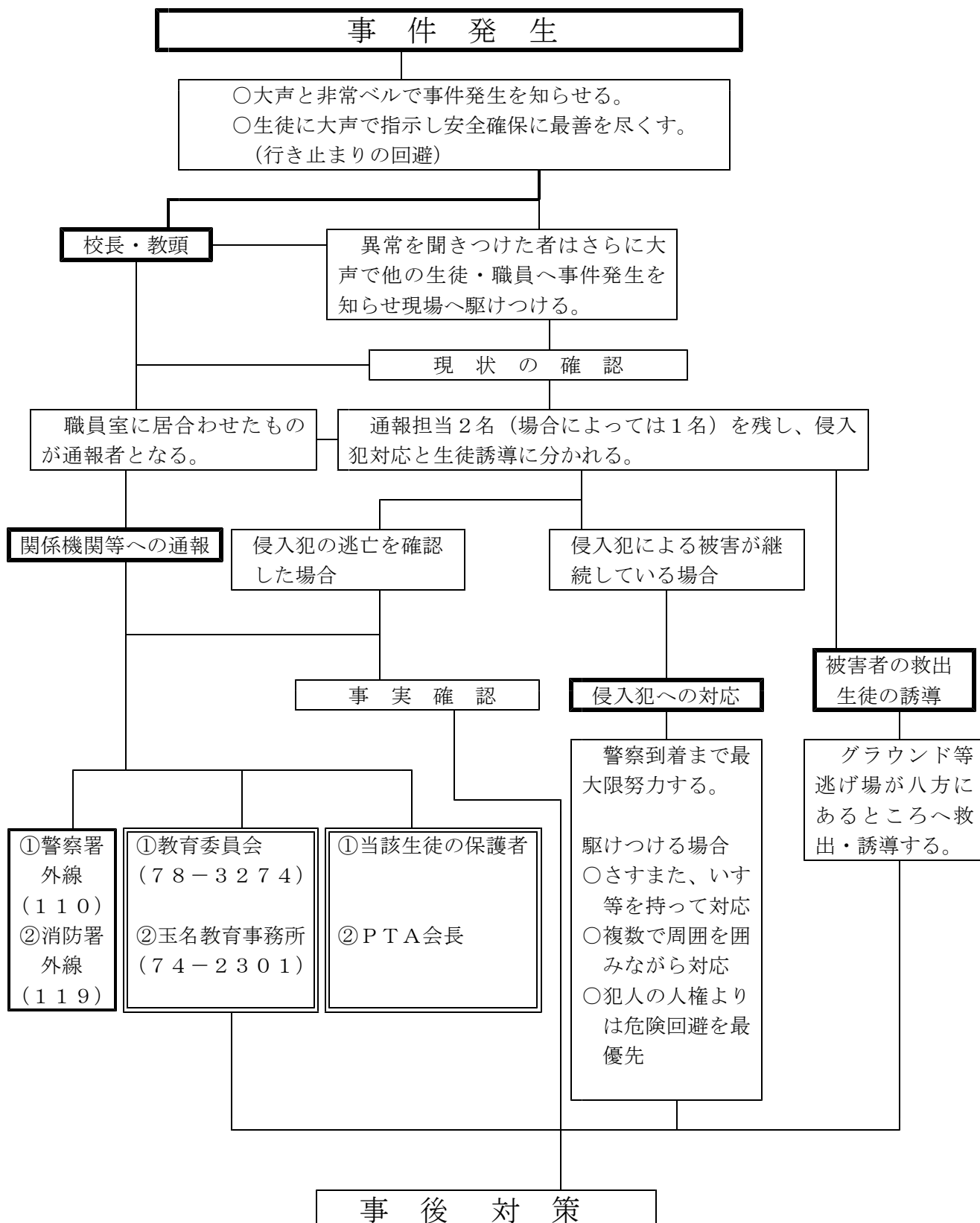
生徒の下校時間に合わせて、

- 1 ちょっとそこまで、お迎えに出ます
- 2 わが子と2人だけの時間、会話ができます
- 3 笑顔とともに「お帰りなさい」
- 4 安全・安心のふるさとづくりにつながります

できる人が できる所で できる事を

危機管理マニュアル

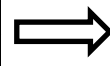
(1) 外部からの侵入犯等緊急性が極めて高い場合の対応



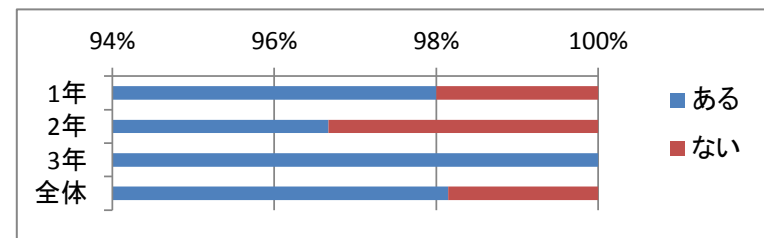
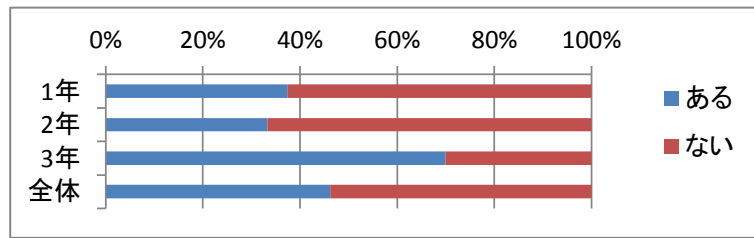
防災教育に関するアンケート集計結果

①あなたは、南海地震について、話を聞いたり見たりしたことがありますか。

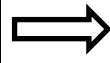
6月	1年	2年	3年	全体
ある	18	20	35	73
ない	30	40	15	85



12月	1年	2年	3年	全体
ある	49	58	52	159
ない	1	2	0	3



6月	1年	2年	3年	全体
学校の授業で	10	18	30	58
学校の避難訓練で	12	16	28	56
家庭で	1	2	4	7
地域で	0	4	6	10
テレビやニュースで	15	18	32	65
インターネットで	0	0	4	4
その他	0	0	0	0



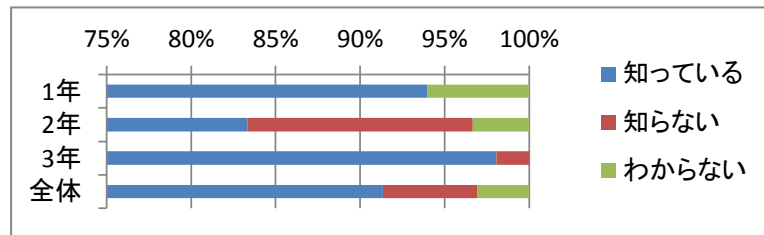
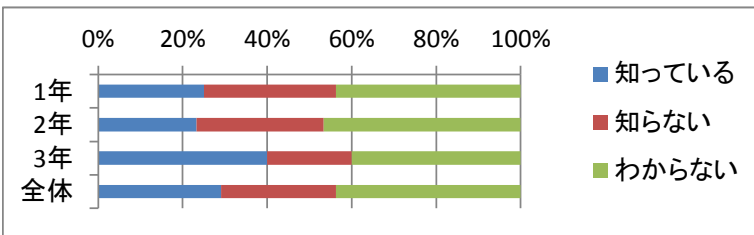
12月	1年	2年	3年	全体
学校の授業で	49	50	52	151
学校の避難訓練で	42	54	52	148
家庭で	0	0	20	20
地域で	0	0	23	23
テレビやニュースで	20	18	54	92
インターネットで	6	0	12	18
その他	0	0	0	0

②あなたは、地震が発生したとき、自分が住んでいる地域で起こる可能性のある被害について知っていますか。

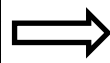
6月	1年	2年	3年	全体
知っている	12	14	20	46
知らない	15	18	10	43
わからない	21	28	20	69



12月	1年	2年	3年	全体
知っている	47	50	51	148
知らない	0	8	1	9
わからない	3	2	0	5



6月	1年	2年	3年	全体
建物崩壊	8	10	18	36
火災	5	8	16	29
津波	8	10	17	35
土砂災害	4	6	18	28
液状化	2	4	5	11
地盤沈下	1	2	4	7
その他	0	0	0	0

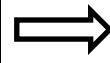


12月	1年	2年	3年	全体
建物崩壊	42	50	48	140
火災	48	48	49	145
津波	50	48	40	138
土砂災害	20	40	42	102
液状化	20	45	36	101
地盤沈下	10	12	22	44
その他	0	0	0	0

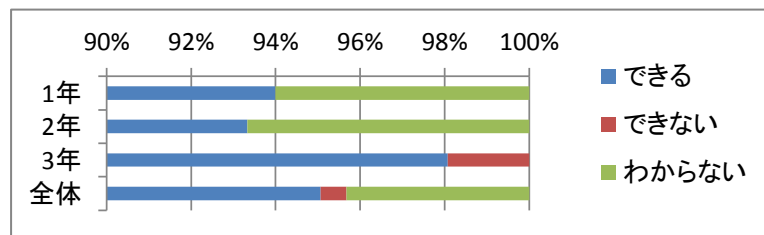
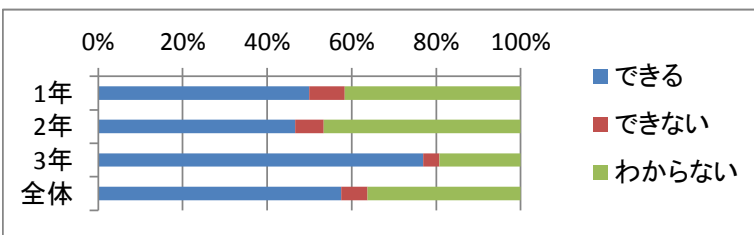
③あなたは、地震発生時、自分で判断して身の安全を守ることができますか。

* 家や建物の中にいるとき

6月	1年	2年	3年	全体
できる	24	28	40	92
できない	4	4	2	10
わからない	20	28	10	58



12月	1年	2年	3年	全体
できる	47	56	51	154
できない	0	0	1	1
わからない	3	4	0	7

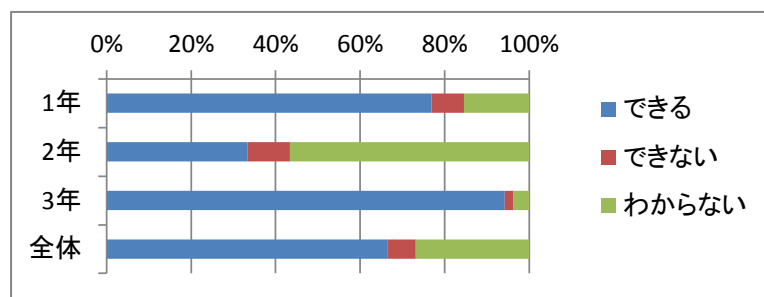
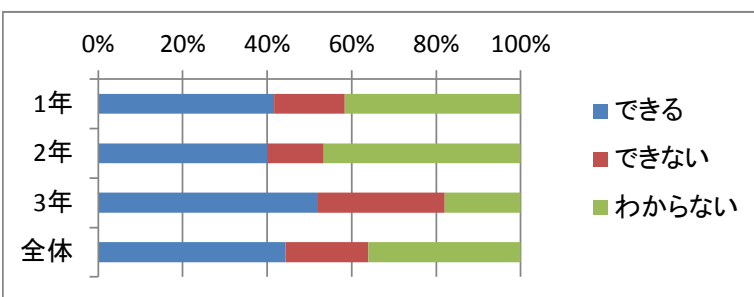


* 外にいますとき

6月	1年	2年	3年	全体
できる	20	24	26	70
できない	8	8	15	31
わからない	20	28	9	57



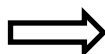
12月	1年	2年	3年	全体
できる	40	20	49	109
できない	4	6	1	11
わからない	8	34	2	44



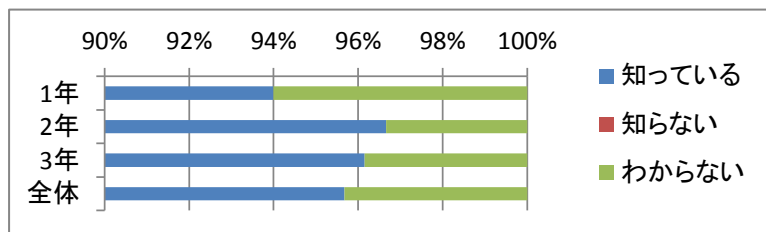
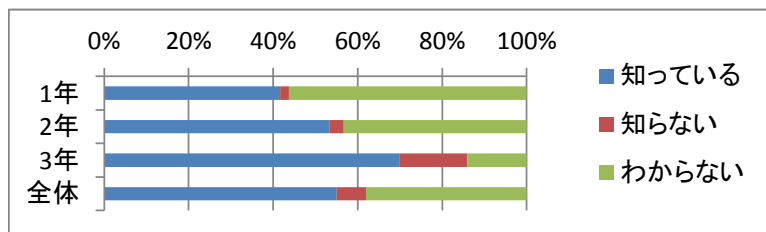
④あなたは、地震が起きた後に、避難する安全な場所を知っていますか。

* 学校にいるとき

6月	1年	2年	3年	全体
知っている	20	32	35	87
知らない	1	2	8	11
わからない	27	26	7	60

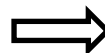


12月	1年	2年	3年	全体
知っている	47	58	50	155
知らない	0	0	0	0
わからない	3	2	2	7

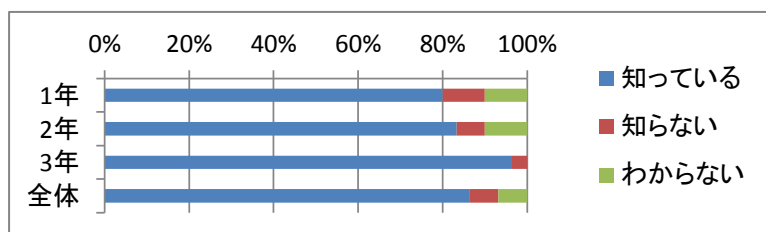
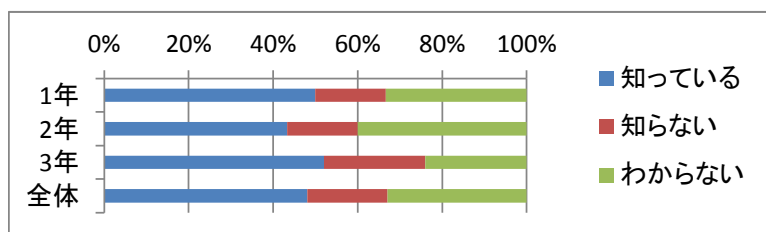


* 家にいるとき

6月	1年	2年	3年	全体
知っている	24	26	26	76
知らない	8	10	12	30
わからない	16	24	12	52

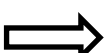


12月	1年	2年	3年	全体
知っている	40	50	50	140
知らない	5	4	2	11
わからない	5	6	0	11

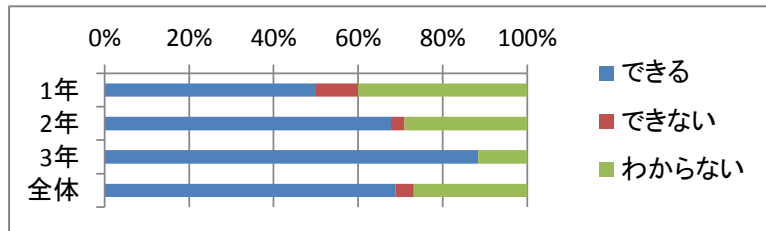
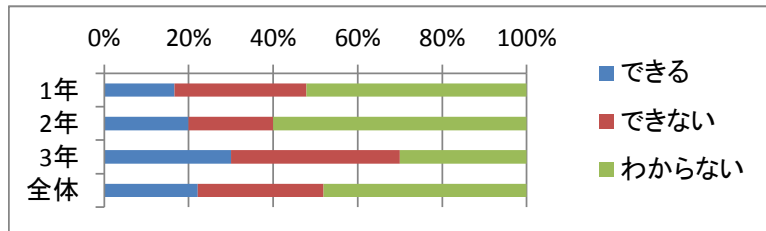


⑤あなたが、一人で登下校しているとき地震が起きたら、安全な場所に避難することはできますか。

6月	1年	2年	3年	全体
できる	8	12	15	35
できない	15	12	20	47
わからない	25	36	15	76

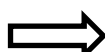


12月	1年	2年	3年	全体
できる	25	42	46	113
できない	5	2	0	7
わからない	20	18	6	44

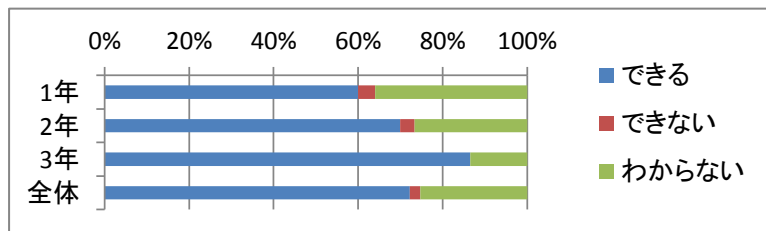
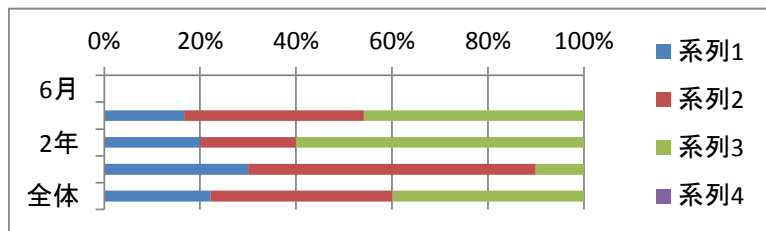


⑥あなたは、地震発生後に、周りの人の安全のために何かできることがありますか。

6月	1年	2年	3年	全体
できる	8	12	15	35
できない	18	12	30	60
わからない	22	36	5	63

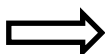


12月	1年	2年	3年	全体
できる	30	42	45	117
できない	2	2	0	4
わからない	18	16	7	41

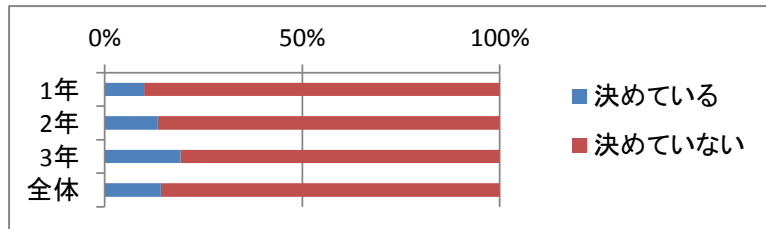
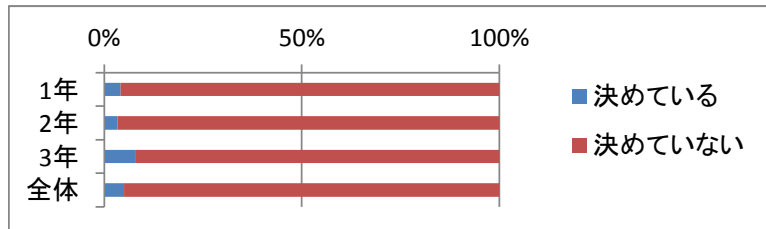


⑦あなたは、地震などで避難した後に、家族で集合する場所を決めていますか。

6月	1年	2年	3年	全体
決めている	2	2	4	8
決めていない	46	58	46	150



12月	1年	2年	3年	全体
決めている	5	8	10	23
決めていない	45	52	42	139

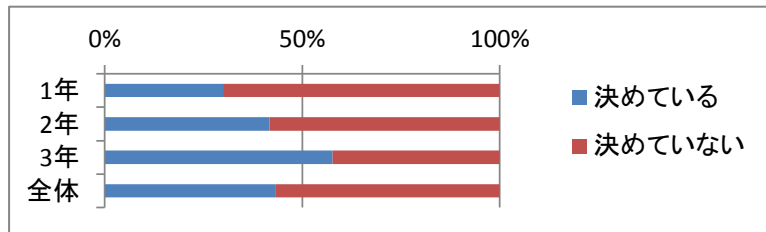
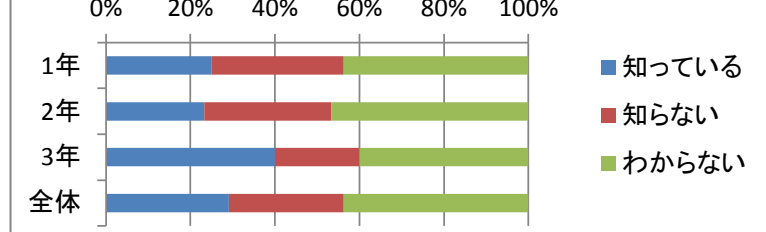


⑧あなたは、地震などで避難した後に、家族との連絡のとり方を決めていますか。

6月	1年	2年	3年	全体
決めている	0	0	2	2
決めていない	48	60	48	156

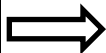


12月	1年	2年	3年	全体
決めている	15	25	30	70
決めていない	35	35	22	92

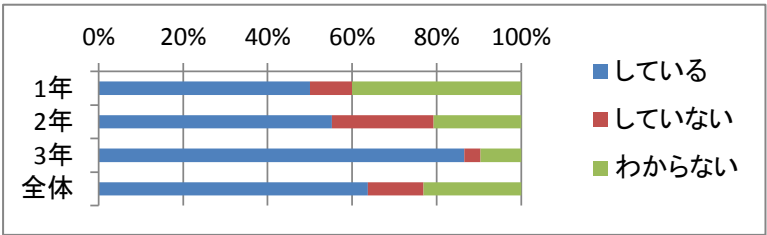
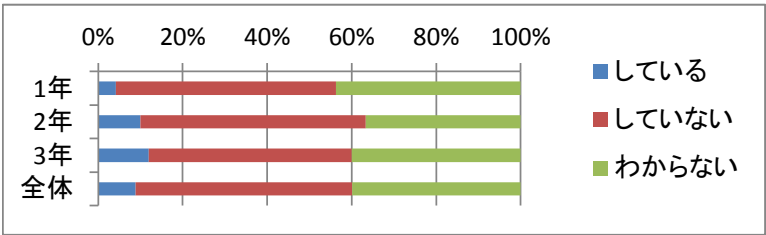


⑨あなたは、地震に備えて何か準備していますか。

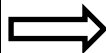
6月	1年	2年	3年	全体
している	2	6	6	14
していない	25	32	24	81
わからない	21	22	20	63



12月	1年	2年	3年	全体
している	25	32	45	102
していない	5	14	2	21
わからない	20	12	5	37



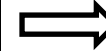
6月	1年	2年	3年	全体
非常用持ち出し袋	0	4	5	9
家具の固定	1	2	5	8
ガラスの飛散防止	1	0	15	16
住宅の耐震化	0	0	0	0
その他	0	0	0	0



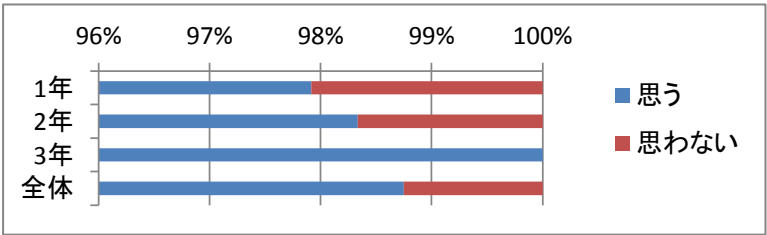
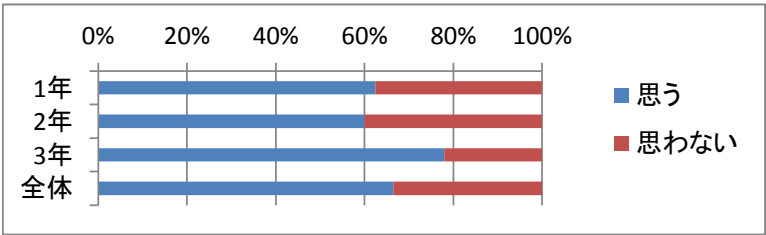
12月	1年	2年	3年	全体
非常用持ち出し袋	8	10	7	25
家具の固定	10	15	40	65
ガラスの飛散防止	20	35	42	97
住宅の耐震化	0	0	0	0
その他	0	0	0	0

⑩あなたは、南海地震について、もっと学習したいと思いますか。

6月	1年	2年	3年	全体
思う	30	36	39	105
思わない	18	24	11	53



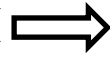
12月	1年	2年	3年	全体
思う	47	59	52	158
思わない	1	1	0	2



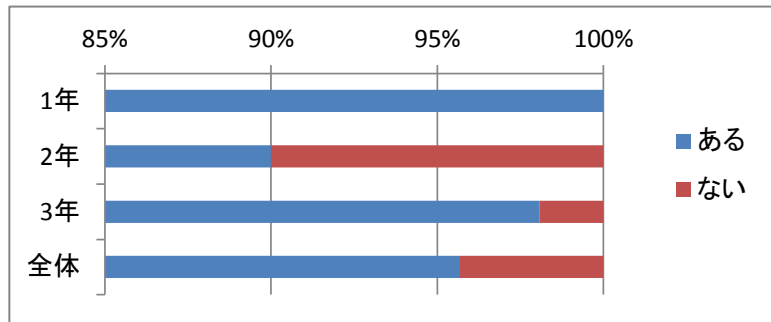
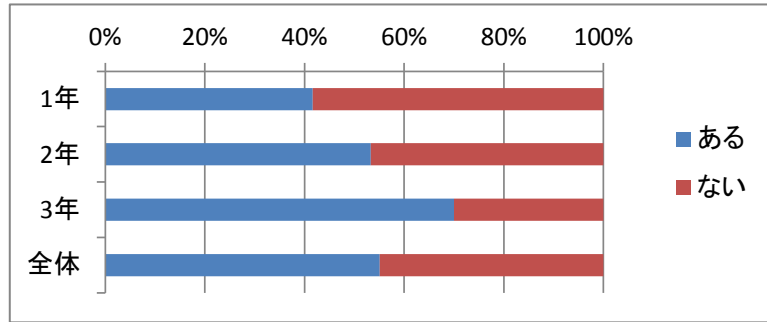
防犯教育に関するアンケート集計結果

①あなたは、不審者への対処方法について、聞いたことがありますか。

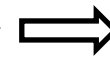
6月	1年	2年	3年	全体
ある	20	32	35	87
ない	28	28	15	71



12月	1年	2年	3年	全体
ある	50	54	51	155
ない	0	6	1	7



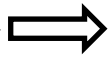
6月	1年	2年	3年	全体
学校の授業で	18	16	18	52
学校の避難訓練で	16	22	25	63
家庭で	1	2	5	8
地域で	0	0	2	2
テレビやニュースで	3	4	10	17
インターネットで	0	0	0	0
その他	0	0	0	0



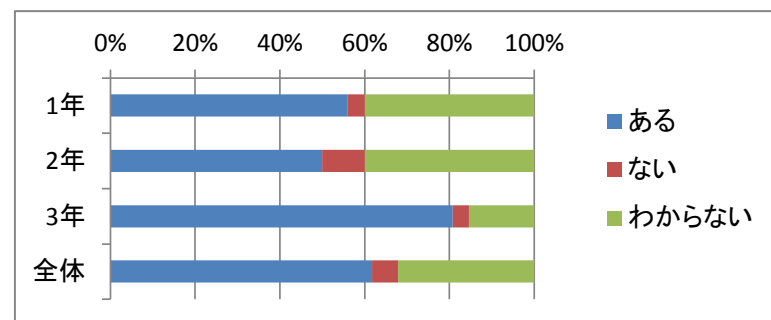
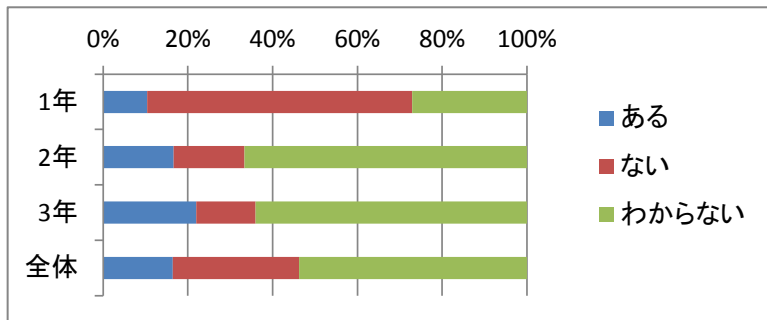
12月	1年	2年	3年	全体
学校の授業で	47	53	51	151
学校の避難訓練で	42	50	51	143
家庭で	2	4	12	18
地域で	0	0	5	5
テレビやニュースで	5	4	40	49
インターネットで	0	0	2	2
その他	0	0	0	0

②あなたは、不審者に声をかけられたときに、自分の身を守るための行動ができる自信がありますか。

6月	1年	2年	3年	全体
ある	5	10	11	26
ない	30	10	7	47
わからない	13	40	32	85

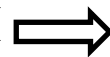


12月	1年	2年	3年	全体
ある	28	30	42	100
ない	2	6	2	10
わからない	20	24	8	52

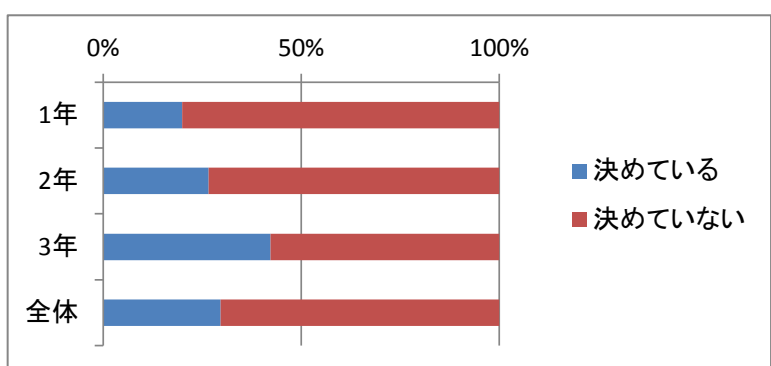
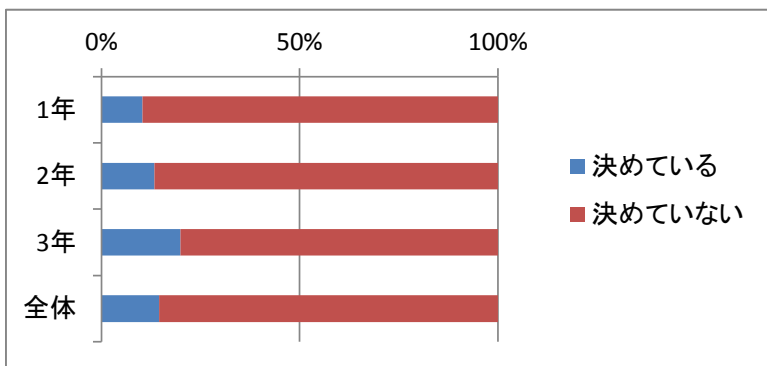


③登下校中に不審者に会ってしまった場合、逃げ込む場所を決めていますか。

6月	1年	2年	3年	全体
決めている	5	8	10	23
決めていない	43	52	40	135

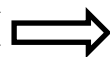


12月	1年	2年	3年	全体
決めている	10	16	22	48
決めていない	40	44	30	114

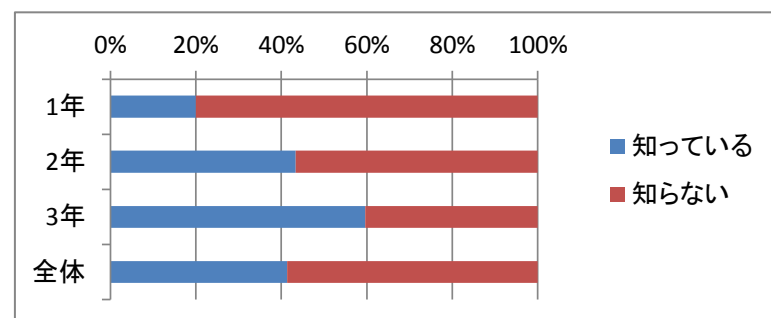
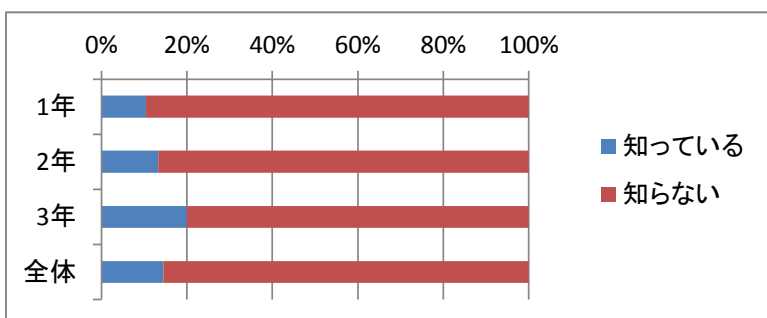


④あなたは、不審者に会ってしまったときの連絡先を知っていますか。

6月	1年	2年	3年	全体
知っている	5	8	10	23
知らない	43	52	40	135



12月	1年	2年	3年	全体
知っている	10	26	31	67
知らない	40	34	21	95

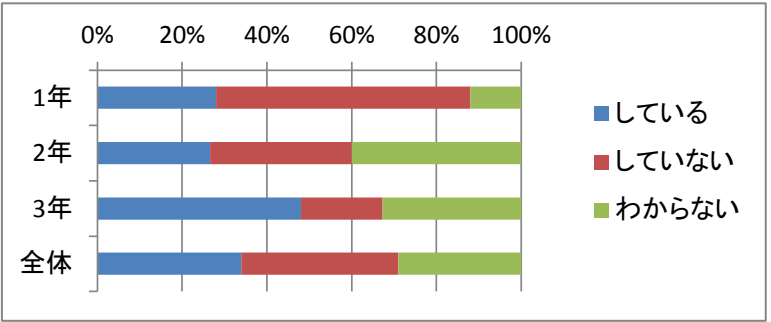
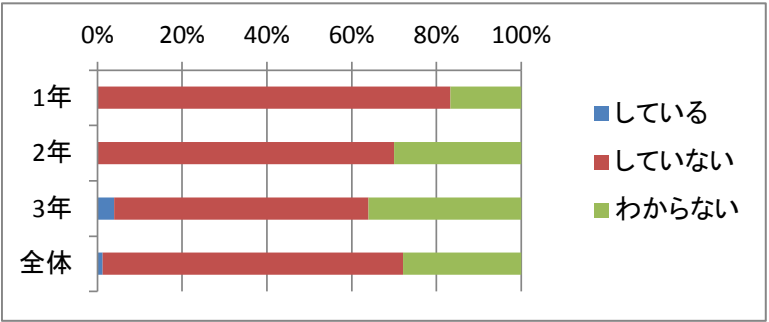


⑤あなたは、不審者に会ってしまったときのために何か準備していますか。

6月	1年	2年	3年	全体
している	0	0	2	2
していない	40	42	30	112
わからない	8	18	18	44



12月	1年	2年	3年	全体
している	14	16	25	55
していない	30	20	10	60
わからない	6	24	17	47



⑥あなたは、防犯について、もっと学習したいと思いますか。

6月	1年	2年	3年	全体
思う	30	38	40	108
思わない	18	22	10	50



12月	1年	2年	3年	全体
思う	48	54	50	152
思わない	2	6	2	10

